



北陸管内の経済情報

(全国財務局長会議資料)

- I. 令和6年能登半島地震において北陸財務局が行った主な緊急対応業務
- II. 令和6年能登半島地震が北陸経済に与える影響について
- III. 最近の北陸財務局管内の経済情勢

令和6年2月1日
北 陸 財 務 局

【お問合せ先】
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

I. 令和6年能登半島地震において北陸財務局が行った主な緊急対応業務

1. 北陸財務局令和6年能登半島地震災害現地対策本部の設置

- ・職員・家族の安否確認、安全確保
- ・各部の対応状況を確認、非常時優先業務等以外の業務等の中止・延期等の整理
- ・被災地への物資提供、被災自治体への人的支援等について協議

2. 政府・自治体の災害対応活動に対する支援

人的支援

- ・石川県災害対策本部（以下「対策本部」）へ毎日リエゾン1名を派遣（1/2～）
 - ・対策本部等の活動を積極的に支援、
 - 支援物資の積込等に係る緊急支援動員依頼を受け、職員10名を小松空港及び産業展示館に派遣（1/5）
 - 1.5次避難所（※）への応援派遣依頼を受け、職員を派遣（1/13～14：各3名、1/15～：各6名）。受付、避難者の誘導、食事配膳、物資運搬等を実施
- （※）いしかわ総合スポーツセンター（1/8、約560名）、産業展示館2号館（1/13、約150名）、小松総合体育館（1/18、約200名）に開設。1/25時点で310人が避難



支援物資の積込



1.5次避難所（出典：石川県HP）

輪島市（包括連携協定締結先）への物資提供

- ・地域連携の取組で繋がりがあがる永平寺町と協働で物資を搬送（1/12）、その後も当局単独で追加物資を搬送（1/17）
- （参考：提供した物資）
飲料水（500ml）：1,320本、非常食：4,860食、マスク：5,850枚 ほか



今後の支援に向けて

- ・被災自治体への応援派遣業務（り災証明書発行等）に備え、九州財務局より熊本地震時の体験談についてWeb説明会を実施し、今後の対応に向けて準備（1/17）
- ・金沢国税局や大阪税関金沢税関支署などにも連携を呼びかけ、被災自治体からの応援派遣ニーズに対し可能な限り対応

3. 金融関係

- ・石川・富山・福井県下の災害救助法の適用を受け、北陸財務局長、富山・福井財務事務所長と日銀金沢支店長の連名により、三県県下の金融機関等に対し、被災者の被災状況に応じた適時適切な措置を講ずるよう要請するとともに、報道機関、関係団体に対しても周知要請・依頼（1/2）
- ・管内預金取扱金融機関の営業見込みを報道機関へ情報提供（1/3）、金融機関の営業情報やATM稼働状況を当局HPに掲載（1/5～随時更新）

4. 国有財産関係

- ・金沢新神田合同庁舎に近隣住民（約20名）が避難、8階大会議室を開放（1/1）
- ・庁舎・宿舍の被害確認 → 庁舎は輪島市及び能登町に所在する3庁舎（※）を除き、概ね業務に支障無、能登地区の宿舍については随所に被害を確認
（※）輪島地方合同庁舎、輪島税務署、能登海上保安署
- ・石川県に対し、活用可能な国有財産リストについて情報提供（1/3～随時）
→ 被災者のための応急的な住まいとして、石川県に対し合同宿舍41戸を使用許可（1/24）
今後さらに追加予定
- ・法務省特別機動隊の活動拠点として、輪島宿舍（17戸）を活用（1/5～）
- ・海上保安庁のBCP職員の住戸として、七尾宿舍（6戸）を活用（1/25～）



輪島宿舍敷地内の北陸電力電柱倒壊



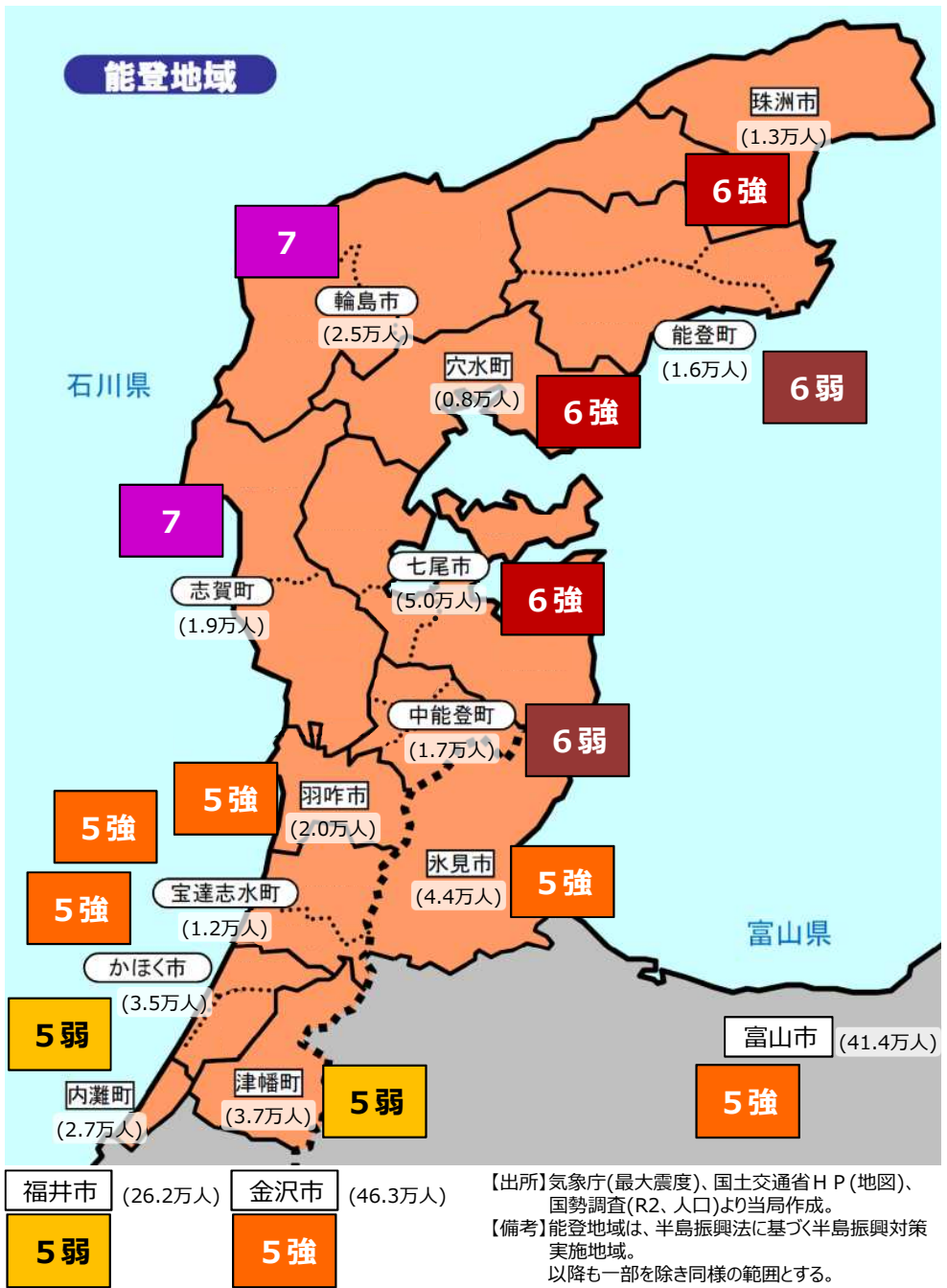
七尾宿舍敷地

5. 財政関係

- ・県内自治体に対し、借入・償還への支障等に係る団体との連絡体制の構築と、災害時の財政融資資金の活用を周知（1/1）
- ・複数の自治体より、財政融資資金を借入予定の事業について、完成が困難な事案や廃止検討を要する事案が発生しているとの相談を受け、借入手続き等の弾力的な取扱いについて、団体向け通知（1/22）し、説明会でも周知（1/25）
- ・歳出予算の繰越承認申請手続きについて、申請者（石川県など）の事務負担軽減に係る事務連絡を发出（1/24）
- ・2月以降、自治体からの災害復旧要請に応えるべく、局内で業務計画の見直しや応援者募集により担当者を増員し、災害査定立会業務等を実施予定

II. 令和6年能登半島地震が北陸経済に与える影響について

1. 能登地域の概要

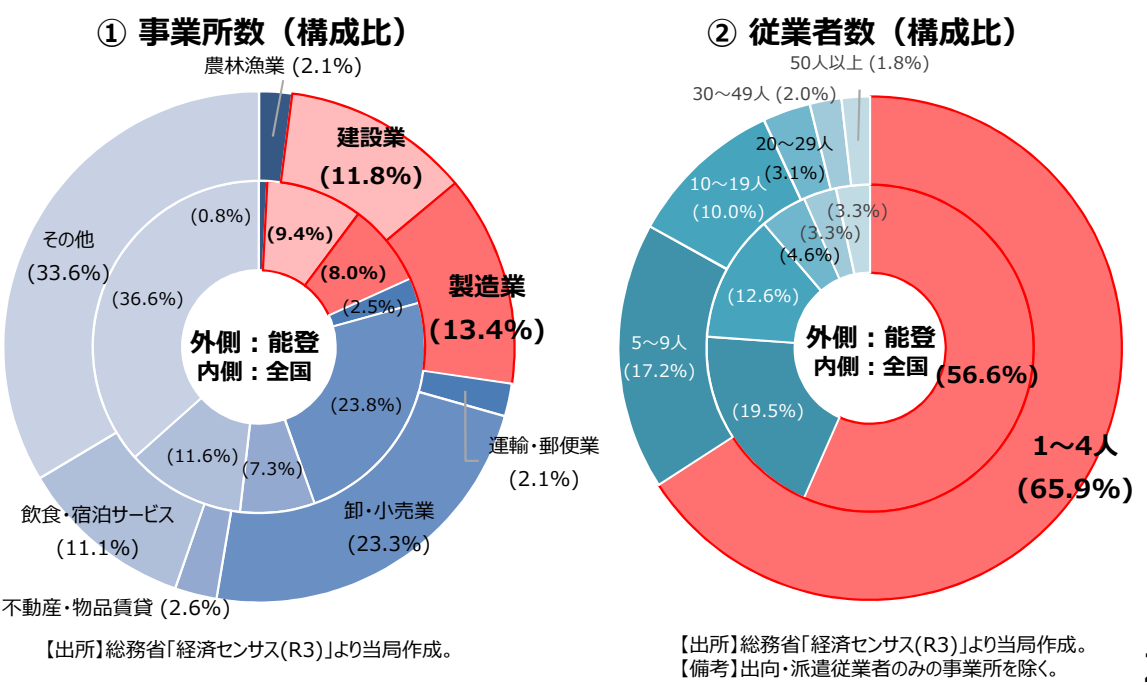


(1) 主な経済指標：能登の県内経済シェアは約2割

項目	単位	石川県				富山県	福井県	北陸
		石川県	能登地域	県内シェア	北陸内シェア			
面積	km ² (R5.10.1)	4,186	2,173	51.9%	17.2%	4,248	4,191	12,625
人口 (高齢化率)	人 (R2.10.1)	1,132,526 (30.0%)	277,532 (37.4%)	24.5%	9.5%	1,034,814 (32.8%)	766,863 (30.8%)	2,934,203 (31.2%)
事業所数	数 (R3年)	62,512	14,807	23.7%	9.3%	53,303	43,557	159,372
従業員数	人 (R3年)	589,146	114,236	19.4%	7.4%	548,993	407,550	1,545,689
売上金額/民営	億円 (H27年度)	136,133	19,557	14.4%	5.5%	119,944	97,625	353,701
製造品出荷額等	億円 (R3年)	28,018	4,999	17.8%	5.5%	39,045	23,953	91,015
課税対象所得	億円 (R3年度)	17,533	3,614	20.6%	7.9%	15,812	12,373	45,718
農業算出額	千万円 (R3年)	4,785	2,521	52.7%	17.9%	5,399	3,925	14,109
観光入込客数	千人 (R元年)	24,899	※ 7,681	30.8%				

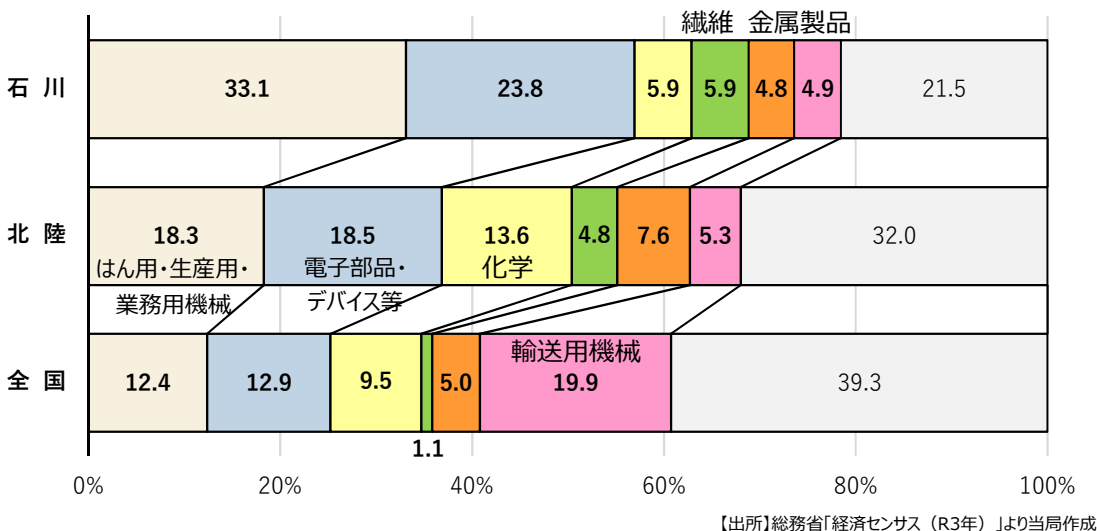
【出所】国土交通省、総務省、農林水産省、石川県資料より当局作成 (※観光入込客数の能登地域は宝達志水町以北)

(2) 産業構造：製造・建設業が多く、小規模事業所の比率が高い



2. 生産活動

(1) 製造品出荷額等・構成比



(2) 全国シェア（業種別）



(3) 全国シェア（品目別）

地域	品目	出荷額 (億円)	全国シェア (%)
石川県	建設機械・鉱山機械の部分品等	1,890	15.6%
	その他の建設機械・鉱山機械	1,115	73.0%
	その他の電子部品等	1,744	9.3%
	個装・内装機械	704	17.4%
富山県	事務所用・店舗用装備品	510	32.6%
	住宅用アルミニウム製サッシ	979	39.8%
	アルミニウム再生地金等	890	13.7%
	アルミニウム押し出し品	869	23.9%
	アルミニウム・同合金ダイカスト	512	9.5%
	医薬品原末、原液	810	15.7%
	黄銅伸銅品	665	20.7%
福井県	モス型集積回路	562	16.6%
	固定コンデンサ	1,977	19.4%
	他に分類されない電気機械器具	958	22.1%

【出所】総務省「経済構造実態調査（R4年）」より当局作成
【備考】対象は、県別・品目別出荷額500億円以上、全国シェア8%以上
なお、上記は公表分のみ数値より算定（集計事業所が各県3未満の場合は県別金額等が公表されていない）

3. 製造業の被害状況

(1) 製造業の被害・再開状況（R6.1.25時点）

石川県を中心とした北陸三県に加え新潟県などの幅広い地域における産業の主要な生産拠点を有する企業と地場の企業、それらから影響を受けるセットメーカーなどに対し被害情報等を収集（経産省）

時点	内容
1/8 (月) 10:30	建物や設備の損傷等の被害が多数発生しているが、対象を拡大して情報収集を行った 企業のうち約7割は再開又は順次生産活動を再開する見込み 。残り3割は被害の詳細を確認中、あるいは復旧に向けた準備を進めている段階。
...	...
【直近】 1/25 (木) 13:00	建物や設備の損傷等の被害が多数発生しているが、被災地域域外のサプライチェーンにも影響を及ぼしうる業種については、 約9割が生産を再開又は再開の目処が立っている 状況である一方、 繊維、工芸品、印刷製造業については、2割強の企業において生産再開の目処が立っていない 状況。

【出所】経済産業省HP（一部抜粋）より当局作成

【参考】石川県では、輪島塗、七尾仏壇、金沢箔、加賀友禅、九谷焼などが、伝統法に基づき工芸品に指定されている。

奥能登の酒蔵：11社のうち、全壊5社、半壊一部倒壊6社。【石川県(1/17知事記者会見資料)】

(2) 上場企業等の復旧時期（R6.1.25時点）

	計	製造業		非製造業	
		計	製造業	計	非製造業
計	101	68	33		
公表なし	27	17	10		
復旧時期	～1月1週（～1/8月祝）	38	28	10	
	1月2週～（1/9火～）	14	11	3	
	1月3週～（1/15月～）	2	2	0	
	1月4週～（1/22月～31水）	0	0	0	
	2月以降（2/1木～）	5	5	0	10
復旧未定	15	5	10	10	

【出所】本店所在地を北陸に置く有価証券報告書提出企業及びヒアリング先の「開示情報」より当局作成

【備考】「震災前への復旧」時期を目安として集計。

一部工場・店舗でも不稼働がある場合のほか、縮小生産や時間短縮で再開、稼働している場合は「復旧未定」として集計した。また、開示情報により、復旧時期の記載が確認できない場合は「復旧未定」として集計した。

4. 生産活動への影響

1. 設備等の損壊等

能登に所在する管外大手メーカーや小規模な地元繊維事業者を中心に生産設備の損壊等が大きく、生産再開に長期を要する企業もみられる。なお、能登地域以外でも生産設備等への損傷が一部にみられ、復旧や点検等を終えていない企業もあるが、総じてみれば大きな損壊等は無く、足下では通常稼働が行われている企業が多く、なかには挽回生産を行う企業もみられる。

2. サプライチェーンへの懸念

能登で電子部品等部材の生産が停滞しており、管内企業の一部では調達面に影響がみられるものの、相応に部品等原材料在庫を保有しており、当面の生産活動に大きな影響は無いとする声が多い。ただし、被災企業の再開・本格稼働には時間を要する恐れもあるなか、北陸で広く分業体制を採る繊維業では全容把握には時間がかかるなど、サプライチェーンへの影響については注視する必要がある。

(1) 電子部品・デバイス

1. 生産設備の損壊等

- 能登には、管外大手メーカーの生産子会社が複数所在しており、生産設備の損壊や従業員の避難等から、生産再開に長期を要する企業もみられる。また、能登地域以外でも、大手メーカーの一部に復旧の遅れがみられるが、総じてみれば、生産設備等への大きな損壊等は無く、通常稼働を行う企業が多い。

2. サプライチェーンへの影響

- 能登から部材を仕入れる電子部品メーカーについては、手許に相応の部品在庫を保有しており、当面の生産・出荷に影響は無いが、代替先を検討する動きもみられる。また、グループ企業の操業停止を受けて、代替生産を検討する動きもみられる。

(2) 化学（医薬品）

1. 生産設備の損壊等

- 管外大手メーカーの生産拠点の一部は操業停止中にあるが、全体としては、原薬メーカーも含め生産設備等への大きな損壊等は少なく、通常稼働を行う企業が多い。

2. サプライチェーンへの影響

- 操業停止中の企業もあるが、製品在庫は十分として、当面の出荷には大きな影響は無いとする声が多い。

(3) 生産用機械

1. 生産設備の損壊等

- 生産設備に大きな損壊等は無いとの声が多い。なお、地震直後の臨時休業や点検後の対応として挽回生産を行う企業もみられる。

2. サプライチェーンへの影響

- 生産・出荷に問題なしとする企業が多いが、一部企業では、能登の被災企業からの部品調達が止まっている。当面は手許在庫により生産活動への影響は小さいが、代替調達の確保を課題としている。

(4) 繊維

1. 生産設備の損壊等

- 石川県内で被害が大きく、特に、小規模事業者が多い奥能登では壊滅的とする声もある。また、以前より零細企業が多く高齢化も進んでいるため、被災による廃業の増加を懸念する声も多い。

2. サプライチェーンへの影響

- 複数の事業者が、それぞれの工程（製糸、撚糸、織り・編み、染色、縫製）を賃加工によって担う「分業体制」を採るケースが多いなか、一部工程による生産停止が、北陸3県を中心としたサプライチェーンを停滞させる懸念がある。なお、再委託を行う企業もあるなど、多くの企業が複雑に関係しており、北陸産地全体への影響把握には時間がかかるとの見方が多い。

(5) 金属製品（アルミ建材）

1. 生産設備の損壊等

- 一部設備に被害はあったものの、足下では通常操業とする声が多い。

2. サプライチェーンへの影響

- 生産設備等に大きな影響なく、また、原材料等の調達には特段の問題なし。なかには、復旧後、週末稼働を行い生産量を回復したとの声もあり、全体として供給体制に問題無しとする声が多い。

(1) 電子部品・デバイス

- 生産再開に向けてインフラと設備の状態を現在確認中【能登※】
- 生産再開には設備と建屋の補修を行うための期間として4か月以上を要するため、生産再開は5月中旬以降になる見通し【能登※】
- 震災により避難を余儀なくされている従業員もおり、生活支援に関する相談を進めながら、今後の出勤体制について検討。生産設備については、各装置の確認作業が進んでおり、一部の生産ラインは立ち上げの調整段階【能登※】
- 主力ラインは、遅くとも1月末までに排気配管の修復等を完了する見込み。被災前に近いレベルへの復帰については、主力ラインは引き続き2月上旬を目標に復旧作業を急いでいる【石川※】
- 設備に影響なしも、仕入先が被災し出荷停止しており、影響を受けている。3月頃までは在庫があるため生産に影響はないが、代替品の調達先を探しているところ【富山】
- 部材の一部電子部品が入らない。在庫対応で生産しているが、代替先を検討中【富山】
- 稼働停止中のグループ企業の製品について、今後、代替生産を始める可能性がある【福井】
- 大きな被害なし。納品先のグループ工場が被災し稼働停止中も、代替工場に納品可。また、グループ全体では製品在庫を相応に積んでおり、供給にも影響はそれほど大きくない【石川】
- 建屋に数か所ヒビが入り補修。一部調達先が被災するも、複数調達を行っており影響なし【福井】

(2) 化学 (医薬品)

- 能登の主力工場の一部の製造建屋及び設備に影響があり、操業停止中。生産再開まで一定の時間がかかる見込み。
なお、製品在庫は十分に確保しており、概ね通常通りの供給を継続できる見込み【能登】
- 富山の主力工場で建屋損傷や漏水等があり、1月末から2月の再開に向けて復旧中。
原材料、製品とも在庫は十分あり、2月に生産開始できれば供給に問題なし【富山】
- 製品倉庫で荷崩れ等はあったものの、通常通り操業している【富山】
- 工場の建屋・営業所・従業員ともに被害はなく、年始は予定通り生産開始【石川】

(3) 生産用機械

- 一部設備が破損したため、年始後2日間を臨時休業としたが、生産への影響なし。
当社サプライヤーが、被災した能登の企業から電子部品の調達できていない。今後、当社への生産への影響が懸念される【石川】
- 生産設備のズレ等があり、点検に時間を要し工場再開を延期。その後、残業等により挽回生産を行い、四半期単位では影響なし。能登の調達先が被災したため在庫品で対応しているが、特注品のため代替調達できない部品もあるため、今後の影響を懸念【石川】
- 一部補修のみで大きな被害なし。能登の複数社から部品を調達しているが、他社で代替可能。また、在庫も有しており、生産への影響なし【石川】

(4) 繊維

- 奥能登は壊滅的。奥能登以外でも繊維業者の半分強で被害があり、1割強が全く稼働できていない【石川】
- 1月中旬から順次稼働。大きな損傷はなかったものの、実際に機械を動かさないと問題の有無はわからず、影響判明には最低1か月はかかる【能登】
- 3日間操業停止。また、設備の復旧に時間を要しており、稼働率は8割弱。完全復旧には約1か月かかる見込み。なお、以前より24時間稼働させており、挽回生産は不可能【能登】
- 稼働停止していたため、納期に間に合うよう挽回生産している【石川】
- 石川や富山に発注している商社も多く、全容把握にはもう少し時間が必要【福井】
- 福井や金沢以西の取引先の多くは正常稼働しており、金沢～七尾の取引先は、正常稼働に向けて少しずつ動き出している状況。七尾以北は生産活動どころではない。繊維産業は川上から川下まで、多くの企業が複雑に関係しており、北陸産地全体への影響の把握には、少なくとも1か月以上かかる。福井県では影響が小さいように思えるが、石川、富山の産地との取引に遅れが発生している可能性があるため、今後の動向を注視する必要がある【福井】
- 中能登の繊維業者と取引があるが、2月末まで調達が止まる。現在は在庫で対応しているが、代替調達先も少なく、3月以降も調達できなければ生産に影響してくる【福井】
- 中能登では約3割の事業者で生産再開の目途が立っておらず、廃業を検討する先も多い。なお、外注先は徐々に稼働を再開しているが、仕掛品や製品在庫の損傷程度を確認できていない先も多い。また、再外注されるケースも多いなど全体像が把握できず、当社取引への影響度はしばらく時間がたないとわからない【石川】
- 繊維業界は零細企業の衰退・高齢化が進むなか、今回の被災がトリガーとなり廃業する先が増え、衰退が加速することを懸念。なお、稼働を停止していた能登の取引先は徐々に再開しているが、少なくとも半月分は納期が遅れるなど先行き不透明【石川】

(5) 金属製品 (アルミ建材)

- 一部生産ラインが損壊したが、早期に復旧し、週末の間に生産量を回復。現在、納期遅れは生じていない【富山】
- 建物や一部設備の被害を確認。安全確認のため複数工場を操業停止していたが、現在は全工場操業。原材料の調達にも影響なし【富山】

(6) その他

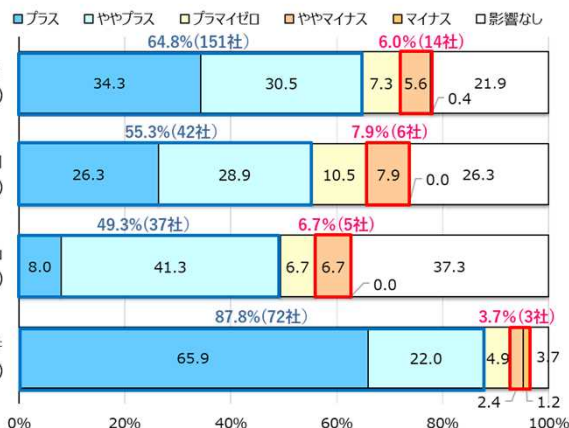
- 福井の生産拠点には特段影響なし。
被災した富山のグループ企業に復旧応援として従業員を数名派遣し、生産再開後も応援派遣を続けている。また、一部の仕入先(石川、富山)が被災したが、一時的に取引先を変更しており、今ところ生産の減少は見込まず【福井(部品)】
- 福井県では特段の被害は無いが、能登の協力工場が被災した【福井(眼鏡)】

5. 観光、個人消費

■ 北陸新幹線の敦賀延伸 (R6.3.16開業)



【震災前】敦賀延伸による自県経済への影響



【資料】北陸管内の企業等233社(事業所・店舗含む)に対し、「敦賀延伸が自県経済に与える影響」を聴き取ったもの (R5年9～12月)

6. 温泉地の被害状況等

■ 宿泊施設のキャンセル状況等

		石川県	富山県	あわら市 (福井県)	うち1/1～1/4
人数 (人)	1 月中	▲ 52,511		▲ 11,618人 予約比▲ 32.7%	▲ 3,710人 予約比▲ 29.1%
	2 月中	▲ 11,496			
	3 月以降	▲ 5,476			
	合計	▲ 69,483	▲ 21,372		
損失額(万円)			▲ 29,643	▲ 26,063	▲ 9,226
時点		R6.1.12	R6.1.10	R6.1.17-17:00	
集計地区・回答数		珠洲、輪島、七尾、穴水・能登を除く115施設	127施設	24施設	
出所		石川県旅館ホテル生活衛生同業組合	富山県	あわら市	

【出所】各出所資料より当局作成

【参考】温泉地の概要

■ 主な温泉地の宿泊客数等(R4年)

温泉地	所在地	宿泊客数 (千人)
山代	石川県加賀市	482
山中	石川県加賀市	217
片山津	石川県加賀市	216
粟津	石川県小松市	139
和倉	石川県七尾市	536
輪島	石川県輪島市	120
湯涌	石川県金沢市	56
宇奈月	富山県黒部市	266
あわら	福井県あわら市	495

【出所】石川県観光企画課調、富山県「富山県観光客入込数等」、あわら市「あわら市観光白書」
【備考】宇奈月温泉は日帰り客数を含む

■ プロが選ぶ 日本のホテル・旅館100選(2024)

順位	旅館名	地区名
1	A	石川県・和倉温泉
2	B	岐阜県・下呂温泉
3	C	福島県・母畑温泉
4	D	新潟県・月岡温泉
5	E	石川県・山代温泉
...
42	F	石川県・和倉温泉
45	G	石川県・和倉温泉
46	H	福井県・あわら温泉
61	I	石川県・山代温泉
71	J	福井県・あわら温泉
73	K	石川県・和倉温泉
84	L	石川県・金沢犀川温泉
98	M	石川県・山代温泉

【出所】旅行新聞新社
【備考】日本の旅行会社(約14,000カ所)へのアンケートをもとに、年に1度ランキングを発表しているもの。

【震災前：延伸への期待】

- 延伸地域では(福井、加賀)、関東からの観光・宿泊客の増加
- 富山では、アクセス改善による関西客の増加
- 開業関連イベント・キャンペーンの効果
- 製造業では、認知度向上によるリクルート活動への効果、出張効率化、商談機会の増加
- 北陸三県内の交流人口の増加

- 関東客が増加。繁忙期・8月のような状況が続く
【福井・温泉旅館】
- 金沢止まりであった関東客の増加を期待【加賀・温泉旅館】
- 関西客は乗換え(2回)や料金上昇による客数減少を懸念するが、市場の大きい関東客の認知度向上により増加を見込む【能登・温泉地】
- 関西とのアクセスが改善し、宿泊客の増加を期待
【富山・温泉旅館】
- 開業関連の新商品やイベントによる売上増に期待
【福井・小売】
- 旅行者増加により、土産品需要も増加する【金沢・製造】
- 新駅への広告掲載で知名度・ブランド力が向上しリクルート面に寄与【加賀・製造】
- 関東からのアクセス向上により、共同研究が進展する
【福井・製造】
- 北陸3県内の移動が容易になり、人流の増加に期待
【富山・宿泊】

7. 観光、個人消費への影響

1. 観光客の減少

- ① 能登地域の温泉地、観光地は被害が大きく、再開に至らぬ先が多い。
- ② **能登地域以外の観光地・温泉地は概ね通常稼働**している。
こうしたなか、金沢をはじめ、加賀、富山、福井など被災地域以外では、営業やアクセスに特段の支障は無くとも、**被災地域一帯とみなされる**など、**観光客は減少し、温泉地では宿泊キャンセル**が増えている。また、能登ー金沢・富山など周遊型の観光商品の魅力低下も懸念される。

① 能登地域

- 和倉温泉は、多くの施設で建物被害が出ており、**相当な被害額**になる恐れ。源泉を管理する配管も損傷したが、一部復旧【石川県(1/17知事記者会見資料)】

② その他地域

<観光地、商業施設>

【備考】R6.1.17～23における企業の声(所在地は地域表示)

- 【金沢】一部に被害があり、**3日間の休業後一部区域を除き再開**。被災地と同じ石川県であるため、**足下まで観光客の減少**が続いており、**1月以降の見通しは不明**
- 【金沢】**建物等に大きな損傷なく通常営業**しているが、**観光客が激減**し閑散。コロナ禍による緊急事態宣言当初のような客入りで年末比1割未満。年始の恒例イベントも自粛中
- 【加賀】**雨漏り程度の被害**であったが、**被災地と同じ石川県にあるため心配される方が多い**のか、観光客は減少している。**地震不安による影響の長期化**を懸念している
- 【富山】**倒壊物等は修復済み**も、観光客は減少し1月は前年の半分以下。能登との周遊ルートにあり、いつまで観光客の減少が続くか不明
- 【富山】商品の落下のほか、**液状化によって駐車場の復旧は未定**。能登と観光で連携しているが、**被災地の復興が始まるまで連携もできない**
- 【福井】**物的被害は無く、通常営業**。ただし足下では客数が減少しており、1月全体で前年の半分程度の見込み。**バスツアーなどもキャンセルが多い**
- 【福井】大きな影響は感じていないが、今後、**地震の影響による客数減少を懸念**

<温泉地・温泉旅館>

- 【加賀】**現状ほぼ回復**しているが、**キャンセルが多く1月の客数は前年比50%以下**。遠方の方には**能登と加賀の距離感がわからず、同じ被災地として見られている**。GWの予約もキャンセルになったとの話もあり、回復は早くても3月以降。新幹線延伸が回復のきっかけになって欲しい
- 【富山】損傷は**すぐに修繕され復旧**。ただし、「北陸」の地震が怖いようで、**各旅館でキャンセルが相次いでいる**。キャンセルはまだ増えていく可能性が高いうえに、予約が入ってきていない
- 【福井】地震が怖いという理由以外にも、**地震で困っている地域に行くのが申し訳ない、不謹慎なのでキャンセル**するというケースが増えている
- 【福井】地震発生後1週間がキャンセルのピークであり、現在は無くなっている。**石川県内の観光地を回ってあわら温泉に宿泊するツアー等の団体客のキャンセル**もあった

2. 消費マインドの低下・停滞

- ① 能登地域では、被災住民による消費活動の減退のほか、**将来不安による消費マインドの低下**が懸念される。
- ② 能登地域以外では、**インバウンドを含めた観光客の減少**や**自粛ムードの長期化**等による消費活動の停滞が懸念される。

① 能登地域

- **能登の店舗**では断水が続いており、このうち1店舗は天井破損や駐車場陥没など被害が大きい。業者の手配が難しく復旧には時間がかかる。全体の売上は計画比▲5%程度となる見込みで、3月末までの再開を目指している(家電大型専門店)
- 地震直後は多くの店舗が被災。**現時点では奥能登2店舗が、断水、天井破損、駐車場陥没、アクセス困難等で営業再開に至らず、再開の目途も立たない**(ホームセンター)
- 約一週間後に全店舗で営業を再開。**一部の店舗では営業時間を短縮**しており、**通常営業の再開時期は未定**(ドラッグストア)
- **能登にも得意先が一定数おり、外商部門の売上も必然的に下振れ**(百貨店)

② その他地域

<小売>

- 【金沢】客数・売上とも7割程度で推移。**観光客やインバウンドはめっきり見当たらなくなった**。賛消費は回復が一番後回しになるし、消費者は気分が乗らず、催事も落ち込む見込み。復興が進んで世間に明るさが戻らないとマインドは上向いてこない
- 【金沢】年始は5割、足下ようやく8割まで回復。**インバウンドはほぼ皆無**で、**観光客はもちろん地元客のマインドにも影響している**
- 【富山】**自粛ムードによる消費マインドの低下**を懸念している
- 【富山】初売りもできず1月は例年の5割程度。**消費マインドの低下**も懸念している
- 【福井】**賛品を積極的に購入する**という雰囲気ではない様子
- 【福井】あわら温泉旅館のキャンセル増加や観光地の客数減少に影響してか、**温泉地・観光地の店舗における県外客の来店・購入が減少**している

<ホテル・飲食、旅行その他>

- 【金沢】宿泊・宴会ともキャンセルが多数発生。**会議・宴会等の法人需要は自粛により1・2月分がほぼ消えた**ほか、**観光客の予約もほぼ無くなった**。一方で、被災地支援者の予約がキャンセルを上回っており、6～7割は客室が埋まっている。ホテル全体の売上としては▲5～6割
- 【金沢】**宿泊・宴会のキャンセルが多発**。他方、被災地支援の新規予約がそれを上回っており、宿泊客は前年比増加。大宗が連泊者であり、2月末まで客室は埋まる見込み。なお、新幹線延伸以降の予約キャンセルは出ていない
- 【金沢】**観光客が減少しており駅近の飲食店舗は打撃**があるほか、**新年会も自粛ムードでキャンセルが発生**。足下の売上は業態・店舗によって前年比▲5～30%
- 【金沢】**ホテル・飲食店への食材卸はキャンセル続出**で売上に響いている
- 【福井】能登への企画ツアーを中止したが、2月もキャンセルが相次いでいる。また、関西方面へのツアーでも震災を機にキャンセルがあり、**旅行の自粛マインド**が感じられる
- 【北陸】住宅価格の高騰に加えて、**消費マインドの低下**を懸念している

3. 復旧・防災需要等

北陸3県で広く、日用品等を中心に**復旧・防災需要**がみられる。

また、温泉地と同様、ホテルでもインバウンドを含め観光客が減少しているものの、**被災地支援者等の宿泊者が増えており**、金沢市内のほか隣県でも満室となるケースもみられる。

① 日用品に動き

【能登】**防災・補修用品（ブルーシート、ねじ、防寒商品等）や汚損した日用品（毛布等）の買替え需要**がみられる（ホームセンター）

【能登】金沢以北の売上は足下で昨年比5～6倍。特に**奥能登では水、衛生用品、日用品需要**が大きい（ドラッグストア）

【北陸】復興、支援需要があり2日以降急速に回復。**ペーパー用品（おむつ、粉ミルク）、缶詰、リフォーム関連、日用品**などで大きく伸長（商業施設）

【北陸】特に能登以外の地域で、**テレビや調理家電の買い替え需要**がみられる。冷蔵庫など大型家電よりもテレビ等小型家電の被害が多かったようだ（家電専門店）

【金沢】避難家族を受け入れるためか、足下で**布団や皿、コップに動き**が見られる

【富山】飲料水や非常用トイレ、バケツ、ブルーシートなどの防災用品が動き、特に、**断水の影響でポリタンク**が売れており、売上は例年よりも多い（ホームセンター）

【福井】余震への備えや防災意識の高まりか、**水やトイレトイレットペーパーなど日用品**がやや動いている（ドラッグストア）

【福井】地震直後は**飲料水のまとめ買い**がみられ、**ポリタンク等の防災用品**と同時に購入する動きがあった。今後、復旧支援者による防災商品需要が生まれる可能性もある（ホームセンター）

【福井】防災意識の高まりから**携帯トイレや水を使わないシャンプーなどの防災用品**がよく動いており、一部客は購入後支援物資として被災地へ送っているようである。2月以降も防災用品は動くと考えている（商業施設）

② 被災地支援に係る宿泊増

【金沢】宿泊・宴会ともキャンセルが多数発生。会議・宴会などの法人需要は自粛により1・2月分がほぼ消えたほか、観光客の予約もほぼ無くなった。一方で、**被災地支援者の予約がキャンセルを上回っており、6～7割は客室が埋まっている**。ホテル全体の売上としては▲5～6割減（再掲）

【金沢】宿泊・宴会のキャンセルが多発。他方、**被災地支援の新規予約がそれを上回っており、宿泊客は前年比増加**。大宗が連泊者であり、**2月末まで客室は埋まる見込み**。なお、新幹線延伸以降の予約キャンセルは出ていない（再掲）

【富山】1月2週目半ばまで断水等により臨時休業としていたが、**再開以降は震災支援者需要等もあり**、例年比7～8割となる見込み

【福井】1月中で1割強のキャンセルがあったが、**復旧需要（県外の土木関係者、救急関係者等）によって全体では例年を上回っており、現在はほぼ満室**。2月以降分については、常連を含む通常ベースの宿泊客に加え、**震災対応の予約があるため、多忙となる見込み**

【福井】地震発生後2～3日はキャンセルがあったが、他方、帰宅難民や余震不安者の宿泊が増えた。現状、地震や電車の状況について問い合わせはあるが、客足は戻っている

8. 物流その他

- 道路網の寸断等により、能登方面への商品の運搬が通常よりも滞っている
- 奥能登への配送は停止中。その他石川県内や富山県内の一部でも配送遅延や配送困難な箇所があるため、受注を100%フル稼働できていない
- 会員向けDMも被災地へは配送不可。物流についても、配送遅延や被災地近辺への生モノ配送不可等が発生している
- 能登の鮮魚の仕入れが絶たれ、他県産で賄っているが品揃えは見劣りする状況
- ギフトに能登の商品が含まれているものがあり、サプライチェーンへの影響も懸念
- 復興支援として能登の産物を積極的に展開したいが、今は物が入ってこない
- 一部客室で漏水被害があったが、材料調達が難しいとして修理は1カ月ほど先になる見込み

9. まとめ

■ 能登は、石川県経済の約2割を占めており、高い技術力を有する繊維業者のほか、大手メーカーの生産工場も多数存在している。こうした企業を含め、**能登半島地震によって生産設備が損壊された企業も多く、再開に長期を要する企業や、被災前の生産水準に至らぬ企業**がみられる。

■ 業種別では、**電子部品・デバイスでは、大手メーカーの複数の工場が生産再開に長期を要しており、サプライチェーンを通じて、北陸内外の企業に与える影響を注視する必要がある**。なお、現時点では、これら被災企業から調達する管内メーカーでは手許在庫で当面の生産に影響は無いとの声が多いが、代替先を検討する動きもみられる。

化学では、**被災企業でも相応に製品在庫を抱えており、当面の出荷に大きな影響は無いとする声が多い**。また、**生産用機械や金属製品では、大きな損壊等は無く、生産・出荷に問題無いとする企業が多い**。

こうしたなか、北陸の主要産業の一つである繊維については、**実態及び影響把握には時間がかかるとの見方が多く、サプライチェーンへの影響に注視する必要がある**。

■ 観光・消費については能登への影響はもとより、特に観光については、相対的に被害の小さい金沢や福井等でも、**北陸全体が被災地域と一体とみなされ、観光客が減少**している。また、北陸内にあっても、**家計では贅沢消費や旅行・外食等が、事業者ではイベント等が自粛**されており、**消費マインドが低下している**との声が多い。

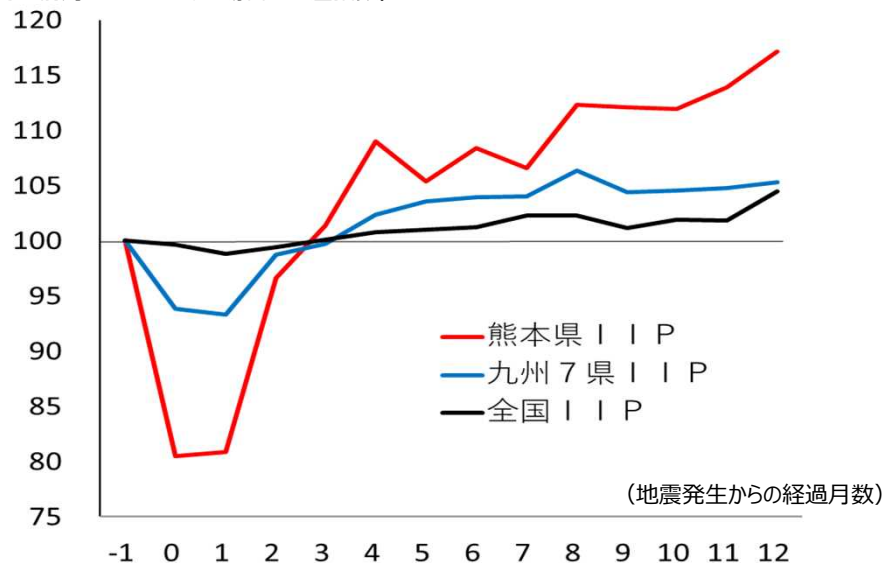
こうしたなかであって、先般取りまとめられた政府による**観光支援策等に対する期待の声や3月に控える「北陸新幹線の敦賀延伸」に期待する声**も多い。また、この延伸を契機として北陸三県の連携機運も高まっているが、観光復興に向けてなお一層の連携が求められるところ。

■ 令和6年能登半島地震によって、**能登地域を中心に企業活動や家計行動に変化がみられるが、引き続き、被災地の復興とともに、北陸経済に与える影響について注視する必要がある**。

【参考:熊本地震前後の動き】

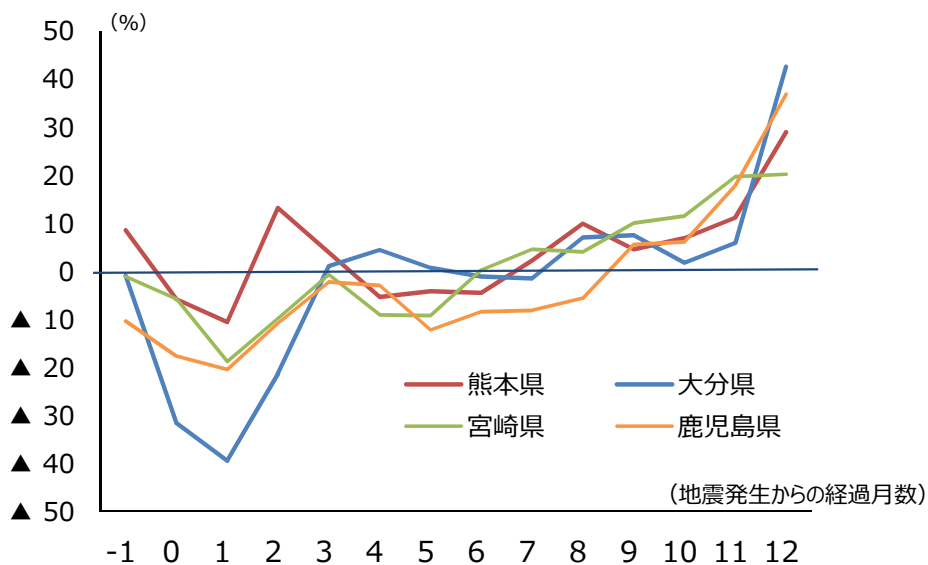
1. 鉱工業生産指数の推移

(地震発生前月=100とした場合の生産指数)



【出所】熊本県、九州経済産業局、経済産業省資料により当局作成

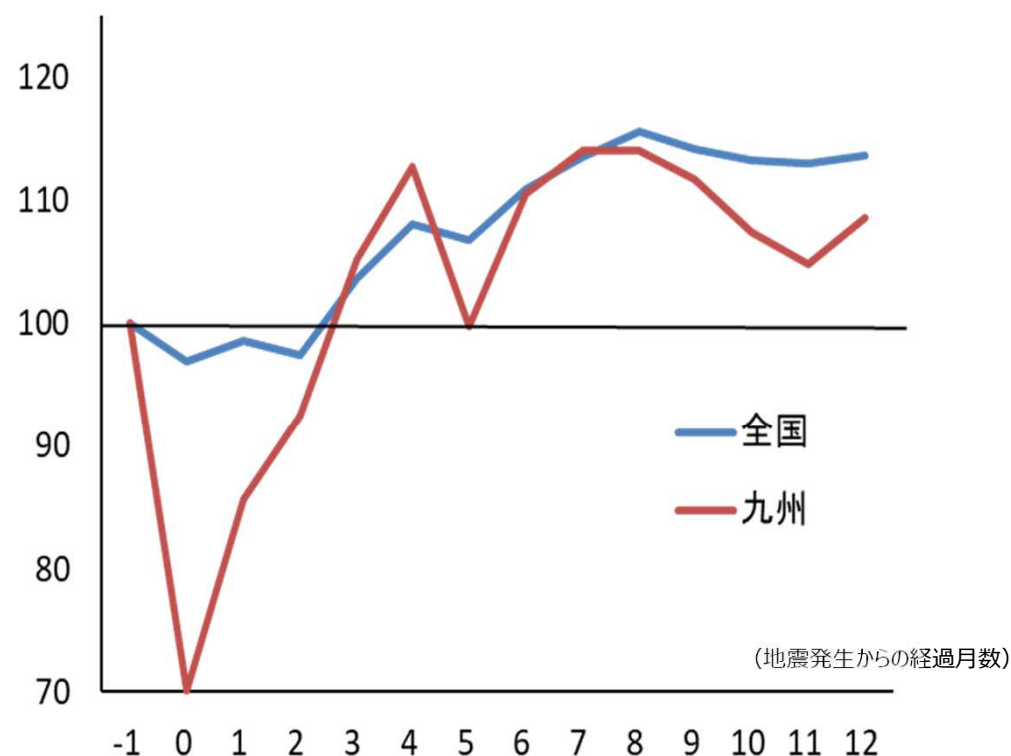
2. 延べ宿泊者数の推移 (前年同月比)



【出所】観光庁資料により当局作成

3. 景気の現状判断DIの推移 (景気ウォッチャー)

(地震発生前月=100とした場合のDI)



【出所】内閣府資料 (景気ウォッチャー調査の地域別DI) により当局作成

【備考】九州は、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県を含む

Ⅲ. 最近の北陸財務局管内の経済情勢

	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	持ち直している	令和6年能登半島地震前は、持ち直していたが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある	※	令和6年能登半島地震前は、個人消費は、ドラッグストア販売が拡大しており、百貨店・スーパー販売が持ち直していることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスが下げ止まっているほか、化学が緩やかに回復しつつあるものの、生産用機械が拡大の動きに一服感がみられることなどから、全体では足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。 現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある。

(※) 令和6年能登半島地震による地域への影響全体について現時点では十分に把握できないため、前回との基調比較は行っていない。

〔先行き〕地震による地域への影響全体について十分に把握した上で判断する必要がある。

	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	令和6年能登半島地震前は、緩やかに回復しつつあったが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある	※
生産活動	足踏みの状況にある	令和6年能登半島地震前は、足踏みの状況にあったが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある	※
雇用情勢	緩やかに持ち直している	令和6年能登半島地震前は、緩やかに持ち直していたが、現時点では、まずは地震による地域への影響全体について十分に把握する必要がある	※

(※) 令和6年能登半島地震による地域への影響全体について現時点では十分に把握できないため、前回との基調比較は行っていない。